

ACCOMPLISH



受験生の生活とは

部活動を引退した生徒が殆どとなりました。高校生活への準備を、また一步進めることとなります。入試突破に向けた準備をするために、気持ちを切り替え、着実に進めていきましょう。

<家庭学習を有効に進めるために>

(1) 目標を定める

何のために勉強するのか疑問を持ったとき、あなたはすかさず答えられるか否か。

答えられない場合は、学習意欲をなくしてしまう方向に進んでしまいそうだ。それならば、せめて「〇〇高校に進学したいから」「受験して合格したいから」と自身を励ます返答をしたらどうだろうか。志望校を決めると「やらねばならぬ」の気持ちになるものである。

ちなみに、勉強は受験のためだけにしているのではない。自身の能力を向上させ、未知よりも既知を多くすることによって自信をもたらし、生きがいを見つけるために座学したり体験したりしているのである。

目先の試験だけをクリアしたら何とかなる、と勘違いをせぬよう。

高校受験→義務教育卒業→高校進学は、社会に出るための大きなステップである。

どこまでできるか、自身の限界と可能性を伸ばすべく、しかと準備されたし。

(2) 帰宅してからの時間

6限目まで授業を受け、帰宅すると、4時半頃であろうか。

部活動をしていたときに比べると、数時間余計に家に居ることになる。

帰宅して、1日の学校生活の疲れをほぐし、さてどうするか。

机に向かうか、夕食の準備をするか、風呂に入るか。はたまた塾に行くか。

それぞれにどんな都合があるか分からないが、家族で夕食のテーブルを囲むまでにきっと時間があると予想できる。その時間は、意外に勉強に適しているのである。1教科をじっくり取り組むもよし。宿題に取り組むもよし。少し達成感を味わい、疲れを感じたところで夕食の時間を迎えると、一層おいしく感じるのではなからうか。

そこで、家族と夕食の開始時刻の目安を決めて計画をしてみてはいかがか。

家族団らんの時間は心の安らぎになるはずだ。

そして夕食後。午後8時には勉強の波に乗っていることが望ましい。12時に熟睡状態になるには、11時頃までの学習時間となる。そうすると、3時間の学習時間は確保できることになり、夕食前の時間を合わせれば、1日4時間以上の学習時間を獲得できる可能性がある。

勉強後は、翌日の学校の準備に加え、帰宅後すぐに勉強したい教科を机の上に準備をして布団に入ると、スムーズに学習を始められる。何をどのように、どの位の時間にどれだけの量をしたらよいのかは、各自のペースに任せるが、フォーサイトノートに学習計画を書き、できたかどうかを確かめながら進めることにより、これまでに学んだことを抜けなく全部を復習することができるはずである。



<学年集会での激励>

(1) 読解力・聴く力・観る習慣

配付された資料は隅々までよく読むこと。正しい情報を取り込み、自身に生かそう。

締め切りのある場合は締め切り日の前日までに提出するようにすると間違いはない。

先生方や保護者など大人のお話は、素直な心でしかと聴くこと。人生の先輩の姿や成功談や失敗談を見聞きして、自分にあてはまることやできそうなことを取り入れよう。

(2) ふんばれ！ 勉強は、じわじわと効果の出る漢方薬

勉強したからといって、すぐに成果が表れるわけではない。点数は、じわじわとあがるものである。

また、10点、20点、と急激に点数が上がることも期待してはならない。殆どは、現状維持である。

現状を維持するために努力をしているわけで、今以上になりたいときには、今の努力では足りないということだ。だから必死に頑張るだろうが、それにしだって限界がある。やったらやった分だけ伸びればこんなに嬉しいことはないが、現実はそのように甘くない。そこで諦めてはいけない。しぶとく踏ん張るのである。

また、「やったはずなのに伸びない」と悩む人もいるが、急激に下がっていないのであれば、それは、努力をしたお陰なのである。現状維持も努力の成果なのである。前向きに捉えよう。

そうは言っても、志望校合格の安心材料にしたいから、もっと点を取りたい！と欲が出るのである。そういう欲張りは大いに結構だ。是非、自身の目標を定めて踏ん張ってもらいたいものである。

防災学習

総合的な学習の時間は「水害」について調べ、考えています。

6月25日(火)は、金沢地方気象台の方に出前授業をしていただきました。

洪水災害や土砂災害がどのようにして起こり、被害の状態などを映像を通して知ることができました。大変詳しく説明をしていただきました。近年は大雨による被害が多発しているので、他人事ではありません。

今後は、ハザードマップをもとに、災害の起こる危険性がある地域や場所を知り、備える方法などを学んでいきます。これまでに調べたことや理科の授業で学習したことなども総合して、もしものときに備えましょう。



(気象庁HPより)

厚生労働省、国土交通省、金沢市のホームページを開くと、防災情報がたくさん掲載されています。何も起きていない平時に情報を得ておくと、危険が迫ったときにスムーズな動きができます。平穏なときに、知って備えることが大切です。

今回の講座で知ったことを家族にも話し、家族全員で備えてください。

目黒第1中学校との交流

6月19日(水)5, 6限は、東京から修学旅行に訪れた目黒第1中学校の皆さんと交流をしました。事前にMEET会議をしたお陰で、スムーズに打ち解けたような気がしました。皆さんが、金沢城址公園と兼六園を案内しましたが、目黒1中の生徒さんからは「詳しく教えてもらえた」と喜びと感謝の声が多かったそうです。積極的にお話をする人も多かったようで、コミュニケーション力向上の機会となったように思います。

また、工作した鯰尾兜(なまずおかぶと)をかぶって騎馬に乗った杉野さんは(写真→)前田利家公が現れたか？と思わせてくれました。後日の電話で、目黒1中の生徒も楽しんでいただくと聞きました。

交流に備えて、事前にいろいろ調べたことは、皆さんにとっても地元をより多く知る機会となりました。大きな災害や戦災にも遭うことなく、江戸時代に整備された道や建造物が残り続ける金沢市をよく知るにより、今後も伝統や歴史を守りながらどのように発展させていくことができるかを、これから生きていく皆さんに考えてもらいたいです。

